

しみずの教育 ちょっといい話

【平成29年11月号】

清水小学校

校長 山下 勇

子どもと教師が一体となって取り組んだ学習発表会

10月14日（土）、平成29年度学習発表会を開催いたしました。金田副町長様や加来議長様、伊藤教育長様をはじめとする来賓の方々や保護者、地域の皆様など、多くの皆様にご観覧いただきました。

今年のテーマ「友情と笑顔を大切に 感動をあたえよう」の実現に向けて、子どもたち一人一人が積極的に取り組み、学級・学年が一丸となり、子どもと教員が一体となって、それぞれの学年の特徴を最大限に発揮できるよう取り組んだ学習発表会でした。子どもたちは、教員の指導・支援を受けながら、子ども自身が意欲をもって積極的に取り組み、見応えのある劇、聞き応えのある合唱や器楽演奏を披露しました。

また、5・6年生は、各実行委員として活動する中で、チームワークと行動力の素晴らしさを見せました。

学校行事（学習発表会）を通して、子どもたちはできるまで努力することの大切さや友達と協力し合うことの素晴らしさを実感するとともに、教師との関わりの中で信頼関係が深まり、一つの目標をみんなで成し遂げたことの達成感・満足感、そして自分に対する自信や自己肯定感を得ることができたものと思います。子どもたちの顔も教師の顔もとても輝いていました。



本校OBの「高橋高志様」、ありがとうございました

今年も、本校卒業生（第60回卒業生）の高橋高志様が、子どもたちに「読書を通じて、本好きで心豊かな子どもに育ててほしい」との温かい思いや願いから、児童用図書55冊を寄贈（今年で5年目です）してくださいました。高橋様のお気持ちをしっかりと受け取り、一層、朝読書や家読書、しみず「読書の日」（毎月19日）、「読書週間」などに取り組んでいきたいと思っております。本は心の栄養であり、一生の宝物です。



家庭と学校の連携・協力のもと、これからも読書活動を通して、子どもたちがたくさんの本と出会い、知識を増やし、心豊かな感性を育むとともに、もっともっと本が好きになり、読書習慣を身に付けた子どもたちになって欲しいと思っております。



お琴 & お茶 by 芸術クラブ

今年初めてできた芸術クラブでは、お琴とお茶の体験をしました。お琴は外部講師として高橋さん・残間さん、お茶は、横山さん・斉藤さんに来ていただきました。講師の先生方には、事前準備をしていただき、子どもたちにとって有意義な時間になりました。

清水町には、芸能面に優れた方が多く子どもたちのために指導して頂けることは大変うれしい事です。講師のみなさん、ありがとうございました。



【10月2日（月）・・・お琴の体験】



【10月13日（金）・・・お茶の体験】

今年も りんご収穫体験してきました!

1～3年生が、田中さんのお宅でリンゴの収穫体験をしました。リンゴの品種や歴史について教わり、収穫と試食をさせていただきました。

帰りには、お土産もいただき子どもたちは笑顔一杯でした。



学習発表会終了



11月11日（土）、御影小学校学習発表会を実施しました。「101年～響かせよう心を一つに感動を～」をテーマとし、子どもたちは特別時間割の期間中、集中して練習に励みました。当日は素晴らしい発表をすることができ、会場一杯に観客の皆さんのたくさんの拍手が響き渡りました。

盲導犬体験学習

10月20日（金）に、6年生が盲導犬体験学習を行いました。

講師は札幌から来ていただき、講話も入れながら、貴重な体験をさせていただきました。



地域の方から

地域の方から次のようなお電話をいただきました。

「町内に住んでいるKというものですが、先日、自転車に乗った男子中学生が後ろから通り、「こんにちは」と挨拶をしてくれました。前から来てすれ違う生徒さんたちとは挨拶をかわしたことがあります。後ろから来た生徒さんから挨拶をされたのは初めてでした。とても爽やか気持ちにさせていただきました。」というものでした。

Kさんからこのようなお話をいただいた私も温かい気持ちにさせていただきました。
ありがとうございました。

(教頭 伊澤理紀)

アイスホッケー部、全国目指して

7月から氷上練習を行っているアイスホッケー部は、いよいよ本格的なシーズンを迎え、次々と大会が行われています。

- ・ 9月30日(土) 第2回全十勝アイスホッケーサマー大会 優勝
- ・ 10月15日(日) 第2回全道中学アイスホッケーオータム大会 優勝
- ・ 10月22日(日) 第49回全十勝中学校秋季アイスホッケー大会 優勝
- ・ 11月 6日(月) 第60回NHK杯争奪全十勝アイスホッケー選手権大会 優勝

このほかにも、全道中学生1・2年生大会でも帯広選抜として優勝しています。

ここまですべての大会で優勝はしていますが、ゲームによっては課題も見られ、修正や改善を重ねています。実践を中心にしながら弱点を補強しているところです。

いよいよ、全国大会に向けた予選が始まります。今年度は、全道大会が帯広で、全国大会は釧路市で行われることから、北海道から4チームが全国大会に出場することができます。

現3年生は、1年生の時に全国優勝を経験しているメンバーです。再び、全国の舞台で思う存分プレーできるよう頑張りたいと思います。



女子4名、グレッズのメンバーも頑張っています。大人や高校生に混ざって活躍中の4名は、夜遅くまでの練習や遠征続きで若干疲れも見えますが、大会では得点に絡む活躍を見せるなど、今後も大いに期待されます。グレッズのこれからもご注目ください。

地域安全標語で再び入賞しました

9月号でお知らせしました御影地域の安全標語に入賞した10名が、新得地方防犯協会連

合会の審査を経て、最優秀賞だった「家の戸も ゆるんだ心も かぎかけて」を作った2年生Kさんが「佳作」に選出されました。10月16日（月）に新得町で表彰式が行われ、出席し表彰を受けました。

パネルをいただきました



10月27日（金）、子どもの頃、御影地区で過ごされた先輩から、校舎の全景写真が寄贈されました。

この方は札幌で建築会社を運営されており、ふるさとを懐かしく思い、ご自分ができることをと考えられて作成してくださいました。いただいたパネルは、玄関東側に設置しましたので、ご来校の際はぜひご覧ください。

（教頭 宗形真恵）

清水高等学校

校長 平野道雄

本校を当番校に図書委員研究集会を開催！

11月2日（木）、とかちプラザにおいて、北海道高等学校文化連盟十勝支部の図書委員研究集会が開かれました。十勝管内の11の高校、93名の生徒と16名の顧問の合計109名が参加しました。本校からは最も多い23名の1・2年次生が参加して、当番校の業務を行っていました。本校の図書局は、自主的に選んで入る部活動とは異なる生徒会の一機関で、各学級から2名が委員として選出されることとなっていますが、希望者の多い学級からは5名もの委員が選出されることもあります。

今回の研究集会は、開会式での渋谷健太君（清水中出身：2年）の司会や、佐藤日向子さん（清水中出身：2年）の第3分科会での進行のほか、北海道出身で元宝塚歌劇団の堀内明日香氏を講師に招いた基調講演「夢が実現する心と体の磨き方」では、清水高校の生徒が何人も手を挙げて質問するなど、本校の委員たちが中心となって進められました。

普段の活動では、本の貸し出しや購入、蔵書点検など事務的な作業は見ていましたが、本校生徒がこうした多くの人たちの前で積極的に話したり、会議を円滑に進めたりする力もあることを再発見しました。



第3分科会での活動

「見学旅行」エピソード

10月16日（月）～20日（金）、2年次は見学旅行に行き、大きな成果と楽しい思い出をもって帰ってきました。行程や様子については、清高通信「彩雲（あやぐも）」今年度第5号（通巻81号）に掲載していますので、本校のHPのトップページ（<http://www.shimizu.hokkaido-c.ed.jp/index.html> 右のQRコード参照）の「彩雲」のバナーをクリックして見てもらうとして、こ



ここでは、それ以外のちょっとしたエピソードを紹介します。

- 千歳空港を飛行機が離陸するときに拍手とどよめきが起きましたが、そんな素直な感動を他の乗客は微笑ましく見てくれていました。
- 薬師寺の東塔や清水寺の一部は運悪く工事中でしたが、逆に今しか見られないものでした。せっかくだから、工事の様子を見学させてもらいたかったのは私だけでしょうか。
- 全員で回った見学地は、どうしても時間が短く駆け足でしたが、生徒が「いつか給料をもらうようになったら、自分のペースでじっくり楽しみたい」と思ってくれたと思います。
- 一日目 雨、二日目 雨、三日目 曇、四日目 雨、五日目 雨→曇 と天候には恵まれませんでした。台風にあたらずに帰ってこられたことでよしとしましょう。
- 四日目からは「私服」で東京の自主研修とディズニーランドを楽しみましたが、雨の影響でアトラクションの待ち時間が比較的少なく、たくさん楽しめた人もいました。



【今しか見られない工事中の様子】



【旅行中は手放せなかった傘】

清水幼稚園

園長 福原幸江

秋の園庭には落ち葉がたくさん！

急に寒さが増し、あっという間にイチョウの葉が落ちました。園では、秋から冬への移り変わりを感じ、自然事象に興味や関心をもつことを大切に園庭遊びに取り組んでいます。小春日和の中、子どもたちは大喜びで園庭に向かい、思い思いにどんぐりひろいや落ち葉集めを楽しんでいます。

年長児は、初夏に植えた落花生掘りをしました。園の畑での露地植えですから、十分な温度の確保もできず、小ぶりで秋を迎えました。みんなで一所懸命に掘りおこしたのですが、予想通りのわずかな収穫でした。それでも自分たちが植えたものを大切に家に持ち帰ってくれました。



中学生が園児と一日過ごしました

今年もキャリア教育の一環として、清水中学校の生徒5人が、幼稚園で実習を行いました。かわいい、楽しいだけではなく、感想として「思っていた以上に、子どもに対する対応の難しさがあり、いっぺんに声をかけられたときの答え方など大変勉強になりました…」としっかりお話ししていました。

将来を見据え、いろいろな学びをしている生徒さんたちがまぶしく映りました。



人権擁護委員さんが紙芝居をしてくれました



子どもたちに思いやりの心をはぐくんでもらう活動として、幼稚園を訪問してくださいました。

今年は、カラスとすすめが登場する紙芝居を通し「いじめはいけないこと、友達と仲良くしよう、思いやりの気持ちが大切」など、子どもの目線に合った言葉で、人権の尊重の大切さを伝えてくださいました。

第一保育所

なかよし発表会

10月8日（日）に、文化センターにて第一保育所のなかよし発表会が行われました。毎日、一生懸命、練習に取り組み、楽しんでいた子どもたち。遊んでいる時でも劇の歌を友達と楽しんで歌っている姿がみられ、本番が近づくとつれ、やる気十分な子どもたちでした。

当日はたくさんのお客さんにドキドキしながらも、見てもらえる嬉しさや、役になりきって表現する楽しさを味わうことが出来た子どもたち。子どもたち一人ひとりが主役となって活躍し、大きな成長を感じる事が出来た発表会でした。保護者の方の温かい応援や拍手をいただき、とても嬉しそうな子どもたちでした。

これからの保育の中でも、役になりきって遊んだり、リズムあそびを取り入れたりして、表現する楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。



(保育士 上 西 叶 未)

清水高校生がボランティアで来所しました

10月12日(木)、清水高校の生徒さんがボランティアで来所し、保育所の子どもたちと楽しく遊んでくれました。高校生の自己紹介では、自分の名前と好きなお菓子を発表すると、保育所の子どもたちも「僕も好き～!! 私も好き～!!」と共感し、ひと盛り上がり。楽しい時間を予感させる自己紹介でした。

その後始まった手話クイズでは、高校生が、ねこ・ラーメン・みかん・さかな等を手話で見せ、保育所の子どもたちは元気に答えていました。超難問の「神社」の手話では、何度もヒントをも

らい苦戦しながらも最後にはほとんどの子が正解することができました。

大いに盛り上がった手話クイズの後は、高校生手作りのぬり絵に没頭しました。お兄さん・お姉さんと一緒にぬりえをし、満足気な表情の子どもたち。ボランティアの高校生との楽しい時間はあっという間に過ぎました。

ボランティアの高校生の皆さんありがとうございました。
(保育士 喜多見 珠 美)



第二保育所

みてみて～あかい花束だよ！！

公園の木々が綺麗に色づき始めたころ、寒くなっても元気いっぱいな子どもたちと一緒に公園に行って遊んで来ました。公園に着くといつもはすぐに駆け回って遊ぶ子どもたちですが、足元や頭の上のきれいな葉っぱに気付き、赤や黄色のモミジをたくさん拾って、花束をつくる子どもたち。「みてみて～あかい花束だよ～」 「きれ～い」と言って見せに来てくれたり、お友達にプレゼントしたりして楽しんでいました。



花束をつくるだけではなく、色や形、枯れ具合にも興味をもち、時間をかけて選んでいる子や落ち葉をたくさん集めてパーティーを開いて友達にふるまっている子どももいました。

他にも秋の実りにたくさん触れ、たっぷりと秋を堪能する事が出来ました。これからも様々な季節の自然に触れて大きくなってほしいですね。

(保育士 古 田 琴 乃)



のんびりきかんしゃ ポーくんとサーカス！！ カッコよかったよ



10月22日(日)、第二保育所の遊戯会が無事に終了しました。オープニングは第九の合唱に始まり、年中児の「choo choo TRAIN」、年少児の「GO GO ドラゴン」などの踊りやオペレッタを発表しました。そして、大トリは年長児による「のんびりきかんしゃ ポーくんとサーカス」です。

きかんしゃのポーくんがサーカスをしている動物たちの気持ちを知り、自分のきかんしゃに乗せてあげるというストーリーです。アシカ、サル、ぞう、ライオン役の子どもたちは、鉄棒やフープ回し、ブリッジなどの得意技を披露して大きな拍手をお客さんからたくさんもらいました。お父さん、お母さんなど、多くのお客さんの前で声を出して劇を発表するのはとても緊張した様子でしたが、また一つ大きく成長しましたね。カッコよかったですよ、そうぐみさん。



(保育士 青 沼 広 子)

御影保育所

たのしかった発表会

10月15日(日)、御影公民館で第45回発表会が行われました。子どもたちは発表会に向けて毎日練習に励んでいました。

公民館練習が始まると子どもたちは、毎日公民館へ歩いていき練習をします。「今日も公民館行くー？」とやる気いっぱい、本番が近付くにつれ緊張感も高まっていきました。

そして、迎えた当日。登所時、もも組(0歳・1歳児)やさくらんぼ組(2歳児)の友達は、いつもと違う雰囲気泣いてしまう子もいましたが、ステージに上がるとニコニコと曲に合わせて体を動かしてくれました。初めての発表会の子も多くいましたが、一生懸命頑張ることが出来ました。

さくら組(年少児)、ゆり組(年中児)、ひまわり組(年長児)の友達は、朝から「今日は頑張るぞ」と気合の入った顔が印象的でした。さくら組では、リボンやスティックを持ち、楽しく踊っていました。ゆり組では、フープや側転等に挑戦しました。ひまわり組は最後の発表会。組体操や跳び箱を行い、カッコよくポーズを決めていました。また、3歳以上児は、縦割りクラスでの舞踊劇があり、練習中からひまわり組が、ゆり組やさくら組の子と手を繋ぎ、引っ張っていつてくれる姿が多く見られていました。今度は私たちの番！と頑張っている姿が見られ、とても頼もしく感じました。

一人一人が頑張り、「発表会たのしかった〜」「おじいちゃん、おばあちゃんも見に来てくれたよ〜」と嬉しそうに教えてくれて、とても良い思い出になったと感じました。



ハッピーハロウィン♪

「御影保育所に」と、農家の方から大きなハロウィンのカボチャを頂きました。その大きなハロウィンのカボチャを玄関前に飾っていると、なでなでしたり、ぺたぺた触ったりして、子どもたちは大喜びでお気に入りの様子です。

玄関を通るたび、かぼちゃの前でちょっと寄り道をして・・・子どもたち同士、「もうすぐハロウィンだね!」と話している声も聞こえてきます。各お部屋も、少しずつハロウィン仕様に飾り付けをしていくと「あ!おばけいるよ～」と子どもたちはすぐに気が付き、喜んでいきます。ハロウィンまでの数日間、大きなかぼちゃを見て楽しむことが出来ました。素敵な贈り物をありがとうございました。



(保育士 中村明里)

教育委員会

十勝清水の恵み給食週間に「牛玉メンチ」登場

昨年の台風大雨災害によりわが町の農業も甚大なる被害を受けました。

清水町の基幹産業である農業を知り、またわが町の自慢の「食」で元気を与えたいと、学校給食「十勝清水の恵み給食週間(10月23日～27日)」に合わせ、10月26日(木)JA十勝清水町と十勝清水牛玉ステーキ丼地域活性化協議会が食材費用を負担し、幼稚園児・全校児童生徒に「牛玉メンチ」が提供されました。

牛玉メンチは、JA十勝清水町のブランド牛「十勝若牛®」の挽き肉を、牛玉ステーキ丼で使用されている特製味噌だれで味付けをし、サクッと揚げたメンチカツです。中に閉じ込められたふんわり卵が肉汁とともにとろけだします。



給食の時間に合わせ、牛玉メンチの開発・販売に携わる十勝清水フードサービスの職員と、地産地消の推進を行う牛玉ステーキ丼協議会事務局員が清水小学校を訪問し、食材の「十勝若牛®」について説明を行いました。その模様はNHK「ほっとニュース北海道」、STV「どさんこワイド 179」、日本農業新聞、十勝毎日新聞で取り上げられ、多くの人に清水町の食育・地産地消の取組を知ってもらうことができました。



他にも同週間では、サネンコロ丼、ミルクフォンデュ鍋、あすなろムース、十勝若牛ハンバーグ、黒豆ごはんなど、清水町の農産物にこだわった給食が提供され、それぞれの食材の生産者や自然に感謝することを学ぶ機会として取り組んでいます。

(学校教育係長 吉田寛臣)



みず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、テレビ消し

家族そろって夕べの読書

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは